

2013 年度「日本木材学会中国・四国支部地域功労賞」

○氏名

今西 隆男（いまにし たかお）氏

○生年月日

昭和 30 年 3 月 16 日

○最終学歴、最終卒業年

1978 年 3 月 愛媛大学農学部林学科卒業

2003 年 3 月 高知工科大学大学院工学研究科修了

2003 年 3 月 高知工科大学大学院工学研究科より博士（工学）授与



○所属機関

高知県立森林技術センター

○受賞題目

未利用木質資源からの炭の製造およびキノコ栽培研究とその普及

氏は未利用木質資源からの炭の製造およびキノコ栽培の研究並びにそれらの研究成果の普及を積極的に行っている。

まず炭の研究では、バイオマスからの炭の製造について研究し、木質材料や古紙等からの未利用木質資源から植物栽培や環境資材として利用できる炭の製造法、炭の製造における木質資源の混合割合や炭化条件を解明するとともに、その製造した炭の利活用について研究してきた。

また、キノコ栽培、特に高知県の特産品として期待されているウスキシヌガサタケの栽培技術では、海洋深層水を利用した栽培やビニールハウスでの栽培の研究を行い、このキノコの増産のための因子（発生特性、発生の安定など）の検討を行っている。さらに、エノキダケ、シイタケ栽培などのキノコ栽培技術にも大いに貢献し、これらの成果の普及に努めている。

さらに、選抜した精鋭樹の遺伝的な優劣を確認・検定を行う次代検定林の調査を行い、成長量を基準とするだけでなく、強度などの材質に関する評価も加味する必要があることを示している。

現在、所属機関の長として高知県における森林並びに林業、木材産業および木材関連産業・林産産業の技術発展とそれらの産業振興に貢献している。